

形 式 :

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	<b>Nodal radiation therapy for metastatic melanoma</b>	
	論文の日本語タイトル		
診療がオンライン情報	オンラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	オンライン上での目次名称	MMCQ19-4	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID	10421540	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Int J Radiat Oncol Biol Phys	
	雑誌 ID		
	巻	44	
	号	5	
	ページ	1065-9	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1999 年	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Corry J	Peter MacCallum 癌研究所
その他著者 1		Smith JG	同上
その他著者 2		Bishop M	同上
その他著者 3		Ainslie J	同上
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の8項目	目的	領域リンパ節への照射後の制御率、毒性、生存率を解析する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	Peter MacCallum 癌研究所	
	対象者	113 例 原発部位：四肢(41 例)、頭頸部(36)、体幹部(24)、不明(12) 潰瘍形成：30%、腫瘍の厚み(>4mm)：29%	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (14)	
	介入（要因曝露）	郭清術：42 例（完全：30 例、部分郭清：10、核出のみ：2） 予防的照射（臨床的には腫瘍なし、および郭清後）：42 例 2-7.5 Gy/回、計 30-60 Gy（最多は、50 Gy/25 回、60 Gy/30 回） 姑息的照射（腫瘍が臨床的に存在している）：63 例 2-8 Gy/回、計 16-62 Gy（最多は、50 Gy/25 回、60 Gy/30 回、30 Gy/6 回）	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発形式	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	2	照射部の制御率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	3	遠隔転移率	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	4	再発時期	1.主要 2.副次 3.その他 (3)
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )
6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
主な結果	予防的照射群（42 例） 5 年生存率：33% 最初の再発部位：領域リンパ節（20%）、遠隔(52)、両者(2) 姑息照射群（63 例） 5 年生存率：8% 最初の再発部位：領域リンパ節(68%)、遠隔(25)、両者(3)		

	結論	多発リンパ節例、被膜外進展例、リンパ節再発例では術後照射を行うべきであろう。
	備考	
レビュワーコメント	レビュワー氏名	鹿間直人
	レビュワーコメント	競合リスクを考慮すると、予防照射群の領域リンパ節制御率は、遠隔転移が早期に生じてしまった症例の領域リンパ節再発のリスクを考慮することができず、やや少なめの数字となっているのかもしれない。 レベル IV